

歯科治療中の注意

むし歯や歯周病の治療中、あるいは義歯修理中で強く噛めないときは、痛みや具合の悪さから食欲が低下するものです。その結果、栄養摂取量が減るばかりでなく、苦痛のストレスでからだのタンパク質の消耗が激しく、全身の体力が衰え、殊に、内臓の働きが弱くなります。胃腸が弱り、消化力・吸収力が低下する結果となります。

このように食物が食べられないと体の栄養状態が悪化して、歯周病の治りも歯肉の形成も遅れることとなります。

胃腸の活動を盛んにして栄養素の消化、吸収を高めることが大切です。特にタンパク質の補給を充分にすることが胃腸を丈夫にすることとなります。そのためには大豆タンパク製品（豆乳など）豆腐、納豆、味噌などの食べやすいタンパク質の多い製品を補うことがよいでしょう。

急性の歯の疾患は激しい疼痛を覚えたり、不快な炎症を起こしますが、歯に病気があっても痛みが伴わず腫れもしないで、知らない間に体のほかの器官に慢性的な多くの疾患を惹き起こすこととなります。う蝕や歯周病などの細菌を持った慢性の炎症となって徐々に病巣が広がり、この病巣から産出される毒素が血行やリンパ行によって離れた遠くの全身の器官に、機能的、器質的な障害や変化を及ぼすようになるのです。それを歯性病巣感染といいます。

- ①循環器系・・・心内膜炎、心筋炎、動脈硬化、静脈炎
- ②リウマチ性疾患・・・関節、心臓、神経、筋肉などのリウマチ、慢性多発性関節炎
- ③泌尿器系・・・腎臓炎、腎盂炎
- ④血液疾患・・・白血球減少症、赤血球減少症、貧血、顆粒白血球減少症
- ⑤眼科疾患・・・脈絡膜炎、角膜炎、視神経炎、虹彩炎
- ⑥皮膚科疾患・・・湿疹、蕁麻疹、アレルギー性疾患
- ⑦神経科疾患・・・神経痛、神経炎
- ⑧消化器系・・・虫垂炎、十二指腸潰瘍
- ⑨呼吸器系・・・気管支喘息、肺壞疽

原病巣となる歯の疾患には次のようなものがあります。

- ①壊死歯髄
- ②歯根嚢胞、慢性根炎性歯周組織炎
- ③歯周病
- ④その他の口腔内の慢性化膿病巣

歯性病巣感染やう蝕により他の臓器器官への影響は意外に大きく、歯科治療によって内科疾患、愁訴の消失率は非常に大きいのです。

むし歯や歯周病にかからないように食品の選び方、食べ方、歯や口腔内の清掃に注意を怠らないことが肝要です。